

武田圭介
公正会

北2丁目通り(病院通り)の
交通改善について

問 ①北2丁目通りのロードヒーティングの実施を巡って、今後どのような形で沿道住民などと協議していくのか。

②北2丁目と西1条通りの交差点に大きな水溜りができ冠水してしまうこともあります。今後どのような対応を考えているのか。

③病院改築に合わせ、病院通りを正式名称にすべきと捉えますが、どのように考えているのか。

答 ①現在、ロードヒーティング敷設工事費と維持管理費の概算を算出しており、合わせて沿道の土地、建物所有者及び居住者を調査しています。これらをもとに、受益者負担率及び対象者を内部で充分検討し、今年秋頃までに、個々に沿道住民と協議を行う考えです。

協議で、一人でも沿道住民より賛同が得られない場合は、ロードヒーティング整備工事を



を実施することは困難と考えています。

②指摘があった交差点について、融雪時に現地を確認して、雨水枡設置等の修繕で対応して参りたいと考えています。

③市道名称変更について、現在の市道名で路線の位置が分かりやすいと判断しています。このことから「病院通り」の趣旨は理解しますが、市道名変更の考えはありません。

インターネットを利用した
空き店舗対策について

問 中心街活性化のために、空き店舗や土地といった眠っている資産を民間等に積極的に活用されるために、進出希望者に随時、情報提供をできるように「市中心街地空き店舗・空き土地情報登録制度」

を作り、情報提供・発信をしていくべきと考えますが、市の考えを伺います。

答 提案いただきましたインターネットを活用した「市中心街地空き店舗等」の登録制度的なものの実現に向けて、行政と商工会議所及び商店会連合会が一体となって取り組み、情報収集した空き店舗等の情報を作成し3団体でそれぞれ情報共有して、幅広く商業店舗を探している方々に情報発信を行い、空き店舗等の解消対策に取り組んで参りたいと考えています。

小黒 弘
無所属の会

スイートロード事業について

問 平成21年度予算から「スイートロード事業」に対する経費がなくなってしまうとした。

最近では「砂川はお菓子の街」とか「すながわと言えばスイートロード」と市内の人々、国や道の皆さんも話すほど砂川を代表する事業になっていました。

なぜ、スイートロード事業が予算から削除されたのか。また、スイートロード事業のこれまでの実績と評価について伺います。

答 砂川スイートロード事業は、砂川のお菓子の魅力を最大限活用して「砂川のイメージアップ」と「市内外消費者の誘致」の2点を目的に、平成14年度から実施され、本年度8年目を迎えています。

この7年間で、すながわのお菓子の地域ブランドが広まり、当初の目標でした「お菓子の魅力を中心とした砂川のイメージアップ」と「市内外消費者の誘致」は大きな成果が表れてきていると評価して

いますが、菓子店への集客を商業界への経済波及効果、商業振興に繋げるという側面を見ると、不十分な面も見受けられることから、商業界のさらなる連携強化を要するため、関係者と協議検討の上、新たな企画とアイデアで新年度の事業内容を計画したところです。

事業実施から情報媒体を活用した継続的なPR活動により、砂川スイートロードの知

名度向上が図られ、PRに係る経費を削減できるようになっています。

本年度からは新たにスイートロード事業を含めた市中心街地活性化事業として「市中心街地活性化基本計画」に記載されたソフト事業を円滑に実施するため、砂川商工会議所を中心組織された市中心街地活性化協議会が主体となって、お菓子で誘致した消費者・観光客を商店街に誘導するため、常に商業活性化を意識した事業展開を図ることとしたところです。

予算書では、スイートロード事業という名称が記載されていませんが、スイートロード事業を含んだ「市中心街地活性化協議会」に対する指導機能の強化が図られたと、理解いただきたいと思います。



土田 政己

日本共産党

「水田フル活用推進交付金」について

問 昨年の世界的な穀物価格の高騰による食料危機を受けて、政府は「10年後には食料自給率50%に」と言い出し、その柱として「水田フル活用」を強調し、重点政策の第一にあげています。そこで、平成20年度第2次補正予算の「水田フル活用推進交付金」の内容と市内農家への配分総額及び支払い時期等について伺います。

答 平成20年度第2次補正予算の「水田フル活用推進交付金」の内容ですが、平成20年度の生産調整実施者で、21年度においても生産調整を実施することを約束した農業者に対し、主食用水稻作付面積に応じて、10a当り3千円を支払うもので、地域水田農業推進協議会を通じて、対象農家に交付されます。

市内農家への配分総額及び支払い時期等ですが、平成20年度の水稻作付面積における

交付金対象農家戸数は103戸で、対象水稻面積は432ha、交付金総額1千296万円の予定となっています。

支払い時期については、国や北海道の交付決定を受けて、平成21年の4月から5月上旬を目途に支払いが出来るように、地域水田農業推進協議会で事務を進めています。

高齢者の医療費無料化について

問 いま、全国の多くの自治体で「お年寄りに優しいまちづくり宣言」を行い、高齢者医療費の自己負担分を自治体が負担し、高齢者医療費の無料化を進める自治体が増えつつあります。予防と健康づくり、早期発見と合わせて実施すれば、医療費や介護費の抑制効果があるという専門家もいます。高齢者医療費無料化制度について、積極的に検討する考えはないか伺います。

答 現行制度において、後期高齢者の一部負担金を無料とした場合、平成19年度ベースで、約2億5千300万円が市の負担となり、この負担分については年々増加する状況に

あり、無料化による財源確保は極めて困難な状況です。現在、75歳以上の高齢者の方は、原則1割負担で、高額療養費制度も設定されていますので、本市において、無料化を検討する状況にありません。



中江 清美

日本共産党

市立病院問題について

問 4月からがん患者緩和ケア専門外来と助産師外来が開設されます。

現在のスタッフと病院の機能での取り組みとなりますと医療現場での相当の連携が必要と思われるますが、具体的に場所や人員、また夜間の救急外来との連携など、どのように実施しようとしているのか

伺います。

答 緩和ケア専門外来については、毎月第4火曜日は午後3時から5時まで、第2・第4木曜日は午後2時から4時までとし、外科外来にて精神的苦痛や身体的苦痛の緩和についての相談や疼痛評価、薬剤の副作用対策の指導などを外科・精神神経科の医師をはじめ緩和ケア認定看護師や薬剤師等により行うものです。

また、夜間の救急外来との連携については、がん患者さんが受診された場合、当直医が診察を行い、判断がつかない場合には上級医あるいは主治医に意見や治療方針等を求める体制としています。

助産師外来は、医師と協働のもと、助産師の特性を生かしながらサービスと質の高い母子ケアの提供につながるものです。開設日は、毎週月曜日と水曜日の午後1時30分から4時30分までとしたなか、妊娠20週から22週の妊婦さんで産婦人科のエコー検査で正常と診断され「助産師外来」を希望する妊婦さんとその家族の方々を対象に、医師と助産師

の役割分担・連携のもと、2名の助産師が検診や各種相談に対応します。

また、夜間の救急外来との連携については、妊産婦さんが体調不良や異変がある場合は、助産師あるいは主治医に判断を求める体制になっています。

砂川市における男女共同参画の取り組みについて

問 過去に女子職員の管理職登用があったが、現在は0人です。将来的に女子職員幹部の登用の計画はあるのか。

答 現在のところ女性管理職はいませんが、育児休業制度の拡充等、女性が働きやすい環境が整ってきているので、今後、審査基準に達し対象となる女性職員が増加していくものと考えています。

